

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	農業委員会事務局		■担当係	農業振興係	
■評価事業名称	きたかみ農業フォーラム開催事業				
■評価事業コード	520100 - 076	■会計区分	一般会計		
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり			
	■基本施策	04 地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上			
	■施策	04 農林業の担い手等人材の育成支援			
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの				
■法令等の名称					
■関連計画の名称					
■事業の概要	近年、経済の国際社会化や少子高齢化が急速に進展する中で、農業の担い手の減少や農業従事者の高齢化、食料自給率の低下など、農業を取り巻く環境変化により多くの課題を抱えている。このことから、農地の有効利用や担い手の確保・育成により、将来に希望の持てる快適な農村生活・農業経営の確立を築くことを目的に開催するものである。平成24年度開催趣旨:農産物の6次産業化は所得の向上や雇用の創出など農業・農村に元気を取り戻す可能性があることから、6次産業の推進を考える。				

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	きたかみ農業フォーラム開催事業	農業者		①期日 H24.11.25(日) ②場所 日本現代詩歌文学館「講堂」 ③参加者 219人 ④事業費 195,157円(市一般会計のみ記載)

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	321	306	340	195	
人件費	3,129	3,354	3,488	3,068	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,450	3,660	3,828	3,263	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	フォーラム開催事業への参加者数	347人	222人	205人	219人	フォーラム参加者数
02	開催回数	1回	1回	1回	1回	開催数
03	フォーラム開催事業への参加者数	347人	222人	205人	219人	認定農業者等の人数 500人×0.2=100人・主催者44人・一般76人

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

04	参加者一人当り経費コスト	9,942円	16,486円		
----	--------------	--------	---------	--	--

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

予定された参加者数をほぼ確保出来た。

### 問題点・課題等

このフォーラムは農業委員会独自で北上市のこれからの農業について市民が集いさまざまな意見交換の場所として、また農業の発展に尽力された方の表彰を行っているが、市の施策との連動がない。県内で同様なフォーラムは市町村主催で行っており、当市においても施策と連動されるよう市主催として行うべきと考える。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

### 補足説明

農業委員会独自事業ではなく、市主催の施策に基づくフォーラムを開催することで、より一層の農林業施策を市民に知らしめれる効果がある。